

2006A SPring-8共用ビームライン利用研究課題の募集について

放射光利用研究促進機構
財団法人高輝度光科学研究センター

SPring-8は、平成9年10月の供用開始から、これまで数多くの研究者に利用されてきておりますが、今後更なる有効利用を図ると共に、世界に冠たる成果を発表していきたいと考えております。

このため(財)高輝度光科学研究センター(JASRI)では、十分に研究を行って頂けるように課題選定に工夫を凝らす等、効果的な支援を行って参ります。SPring-8では、赤外線から硬X線までの広い波長範囲の高輝度放射光ビーム及び先端的な測定装置を備えていますが、これらの設備を活用し、最先端の研究開発や社会に貢献する産業利用などを旨とした研究課題を一般課題および長期利用課題として募集いたします。一般課題については本ページを、長期利用課題については289ページを参照ください。

また、一般課題とは別の課題審査により選定される、JASRIが重点領域に指定した課題すなわち、国のナノテクノロジー総合支援プロジェクト課題および先端大型研究施設戦略活用プログラム課題の募集を行っています。同じ内容での一般課題への二重申請はできません。それぞれ本誌283ページの「重点ナノテクノロジー支援課題の募集について」および292ページの「平成18年度先端大型研究施設戦略活用プログラム第1回課題公募(SPring-8利用課題並びにSPring-8及び地球シミュレータの併用課題)について」を参照してください。これら重点研究課題についてはhttp://www.spring8.or.jp/j/user_info/priority_prop.htmlをご覧ください。

1. 利用期間

平成18年3月～平成18年7月(全ユーザービームタイム200シフト程度)の予定

2. 応募方法

Webサイトを利用した電子申請となります。以下のUser Informationウェブサイトから申請して下さい。入力項目は本誌267ページ～270ページに示します。

User Information : <http://user.spring8.or.jp/>
トップページ>ログイン>課題申請

課題を申請するには、まずユーザーカード番号とパスワードでログインする必要があります。まだユーザーカード番号を取得していない方は、ユーザー登録を行って下さい。

なお、実験責任者は、ログインのアカウントのユーザー名で登録されるため、代理で課題申請書を作成する場合は、実験責任者のユーザーカード番号で作業の上、提出する必要があります。その場合、アカウントやパスワードの管理は実験責任者の責任の下でお願いします。

また、Web申請にあたり、申請者(実験責任者)だけでなく共同実験者も全員ユーザー登録が必要となります。従って申請者(実験責任者)は、課題の申請手続きを行う前に、共同実験者に対してユーザー登録を行うように指示して下さい。

詳しい入力方法については270ページの「SPring-8利用研究課題オンライン入力要領」をご参照下さい。

[成果非専有課題]

『成果の形態および課題種』の選択画面で“成果を専有しない”をチェックし、「一般課題」を選択して下さい。

なお、SPring-8を初めて利用される予定の方は、先端大型研究施設戦略活用プログラムへのご応募についてもご検討下さい。

[成果専有課題へ申請する場合]

『成果の形態および課題種』の選択画面で“成果を専有する”をチェックし、「一般課題」を選択して下さい。

なお、成果専有で申請する場合は、課題申請書の他に、ビーム使用に関わる同意書を提出していただく必要があります。当該のフォームをUser Informationサイトよりダウンロード後、実験責任者並びに所属

機関の成果専有基本契約責任者*1の署名・捺印の上、別途郵送して下さい(ビーム使用に関わる同意書の送付期限：平成17年11月22日)。

*1 別途料金支払い等に関する契約を結んでいただく必要がありますので、事前に利用業務部にお問い合わせ下さい。

3. 応募締切

平成17年11月15日(火)午前10時JST

電子申請システムの動作確認はしておりますが、予期せぬ動作不良等の発生も考えられます。申請書の作成(入力)は時間的余裕をもって行って頂きますようお願いいたします。

Web入力に問題がある場合は「9. 問い合わせ先」へ連絡して下さい。上記応募締め切り時刻までに連絡を受けた場合のみ別途送信方法の相談を受けません。申請が完了し、データが正常に送信されれば、受理通知と申請者控え用の誓約事項のPDFファイルがメールで送られます。

4. 対象ビームライン

募集の対象となるビームラインを表1に示します。ご応募の前にビームライン・ステーションの整備状況をSPring-8のホームページでご確認下さい。不明な点はそれぞれのビームラインの担当者にお問い合わせ下さい。前回まで一般課題の応募を受け付けていた物質・材料研究機構 物質研究所専用ビームラインBL15XUと日本原子力研究所のビームライン(平成17年10月より日本原子力研究開発機構専用ビームラインに移行)BL11XU、BL14B1、BL22XU、BL23SUは今回からナノテクノロジー課題のみの募集となりましたので、ご注意ください。

5. 分野ごとに特徴ある課題選定

[1] XAFS分野における予備実験ビームタイム

長時間のビームタイムを要望される課題で、新しい応用分野ないし挑戦的な研究、あるいは実験・解析技術の習得が必要なため、本格的に長時間の実験を行う前に予備実験が必要であると判断された課題についてはまず予備実験に必要なビームタイムが配分されます。申請者は配分されたビームタイムで実験を行い、その実験・解析結果を報告し評価を受けた後要望されている残りのビームタイムが配分されることとなります。

[2] 1年課題

BL02B1、BL04B1、BL10XU、BL27SUでは、1年課題の運用を行っていますが、1年課題の利用はB期毎の募集ですので、今期2006Aでは1年課題は募集しません。半期のみの課題にシフトを供給します。

6. 提供するビームタイム

[1] 共用ビームライン：全ユーザービームタイムの80~50%程度

重点課題や長期課題が実施されるビームラインは全ユーザービームタイムの50%程度
それ以外のビームラインは全ユーザービームタイムの80%程度となる見込みです。

[2] 理研ビームライン(BL17SU、BL19LXU、BL26B1、BL29XU、BL44B2、BL45XU)：20%程度 成果非専有課題(成果公開)のみ。応募の前に理研の担当者にお問い合わせ下さい。

7. 2006Aのセベラルバンチ運転モード

2006Aに行う運転モードは以下のとおりです。

Aモード：203bunches(蓄積リング全周において等間隔に203個のバンチに電子が入っている。)

Bモード：4-bunch train × 84(連続4バンチのかたまりが、全周において等間隔に84ある。)

Cモード：11-bunch train × 29(連続11バンチのかたまりが、全周において等間隔に29ある。)

Dモード*2：2/21-filling +18 bunches(全周を21等分し、2/21には連続して73mA相当の電子が入り、残りの部分は等間隔18カ所に各1.5mA相当のバンチがある。)

Eモード*2：10/84-filling +73 bunches(全周を84等分し、10/84は連続して約64mA相当の電子が入り、残りの部分に等間隔に73バンチ合計約36mA相当の電子がはいっている。)

*2 上記のDおよびEモードはA期(2006A, 2007A,...)のみ運転します。B期(2006B,...)のDおよびEモードはそれぞれ1/12-filling +10 bunchesおよび6/42-filling +35 bunchesの予定です。

8. 申請書作成上のごお願い

[1] 申請形式(新規/継続)について

SPring-8の課題は6カ月の間に実行できる範囲

の具体的な内容で申請して下さい。SPring-8の継続課題は、前回申請した課題が何らかの理由により終了しなかった時に申請していただくものです。研究そのものが何年も続いていくことと、SPring-8の継続課題とは別に考えてください。前回採択された課題のチームタイムを終了されて、研究が続く場合は新規課題の申請を行ってください。

[2] 実験責任者について

実験の実施全体に対してSPring-8の現場で責任を持つことが出来る人が実験責任者となってください。学生の方は実験責任者にはなれません。(学生の方は萌芽的研究支援 利用研究課題の募集について)をご参照下さい。)

[3] 本申請に関わるこれまでの成果について

成果発表リストとその概要は必ずご記入ください。過去に利用実績のある申請者に対し、成果の公表状況を評価し、課題選定に取り入れます。

9. 問い合わせ先

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
 (財)高輝度光科学研究センター 利用業務部
 「共用ビームライン利用研究課題募集係」
 平野有紀、平野志津
 TEL : 0791-58-0961 FAX : 0791-58-0965
 e-mail : sp8jasri@spring8.or.jp

10. 審査について

- [1] 成果非専有課題：科学技術的妥当性、研究手段としてのSPring-8の必要性、実験の実施可能性、実験の安全性について総合的かつ専門的に審査します。なお、産業利用分野に応募される場合、「科学技術的妥当性」については、期待される研究成果の産業基盤技術としての重要性及び発展性、並びに研究課題の社会的意義及び社会経済への寄与度を特に重点的に審査します。また、過去に利用実績のある申請者に対し、成果の公表状況を評価し、課題選定に取り入れます。
- [2] 成果専有課題：実験の実施可能性、安全性、公共性及び倫理性について審査します。

11. 審査結果の通知

平成18年1月中旬の予定。

12. ビーム使用料

平成17年10月現在の使用料は以下のとおりです。
 成果非専有課題(成果を公開された場合^{*3}): 無料
 成果専有課題：
 通常利用 : 472,000円 / 1シフト(8時間)
 時期指定利用 : 708,000円 (ビーム使用料 + 割増料金) / 1シフト(8時間)

*3 課題終了後60日以内に利用報告書を提出していただくことで、成果が公開されたとみなしますが、論文発表等での成果の公表をお願いします。また公表された場合は、すみやかにWebから登録して下さい。

13. 旅費支援について

旅費の支援はありません。予めご了承ください。

14. 次回(2006B)の応募締切

次回利用期間(平成18年後期)分の募集の締め切りは6月頃の予定です。

表1 募集の対象となるビームライン

共用ビームライン

No.	ビームライン名	研究分野
	測定装置, 光源 (試料位置でのエネルギー範囲等), 検出器, 試料周辺機器	
1	BL01B1: XAFS	X線吸収微細構造, 時分割Quick XAFS
	偏向電磁石 (3.8-117keV), 時分割実験 (分解能: 数秒~数十秒) Lytle検出器, 単素子SSD, 19素子SSD, 単素子SDD, 転換電子収量検出器, イオンチャンバー, 電気炉 (300-1070K), マッフル炉 (300-1870K), クライオスタット (10-300K), -2 ステージ, 温度制御付溶液試料セル (263-353K), 試料調整用真空ライン	
2	BL02B1: 単結晶構造解析	結晶構造解析, 散漫散乱, 粉末結晶回折
	七軸自動回折計, 微小結晶用低温真空カメラ (申請に先立って事前に兵庫県立大学 鳥海氏との 打ち合わせを必要とする), 偏向電磁石 (5-117keV), クライオスタット (10-300K, 高圧可), 電気炉 (300-1500K)	
3	BL02B2: 粉末結晶構造解析	精密構造物性
	湾曲型イメージングプレート搭載大型デバイセラーカメラ, 偏向電磁石 (12-35keV), クライオスタット (15-300K), 窒素ガス吹付型低温装置 (90-300K), 窒素ガス吹付型高温装置 (300-1000K)	
4	BL04B1: 高温高圧	高圧地球科学
	2段式高温高圧装置 (SPEED-1500 (最大圧力温度30GPa, 2000K), SPEED-Mk.II (最大圧力温度60GPa, 2000K) (申請に先立って事前に愛媛大学 入舩氏 (e-mail: irifune@dpc.ehime-u.ac.jp) との打ち合わせを必要とする)), エネルギー分散型粉末X線回折計, 偏向電磁石 (白色20-150keV), Ge半導体検出器, 高速CCDカメラ, イオンチャンバー	
5	BL04B2: 高エネルギーX線回折	高圧物性研究, 非結晶・液体構造, 精密構造解析
	ランダム系ステーション [二軸回折計, Ge半導体検出器, 電気炉] 高圧ステーション [ダイヤモンドアンビルセル用回折計, ルビー蛍光測圧装置 (オフライン), イメージングプレート] ワイセンベルグカメラステーション [ワイセンベルグカメラ, 窒素ガス吹付型冷却装置 (申請に先立って事前に東工大 尾関智二氏 (tozeki@cms.titech.ac.jp) との打ち合わせを必要とする)] 偏向電磁石 (モノクロメータ37.8, 61.7keV, 集光光学系あり)	
6	BL08W: 高エネルギー非弾性散乱	磁気コンプトン散乱, 高分解能コンプトン散乱, 高エネルギー蛍光X線分析
	楕円偏光ウイグラー (100-120keV, 175-300keV), Ge半導体検出器 (多素子, 単素子), 分光結晶型検出器, 超伝導磁石 (3T), 超伝導磁石 (7T, 申請に先立って事前にBL担当者との打ち合わせを必要とする), クライオスタット (10-300K)	
7	BL09XU: 核共鳴散乱	メスパウアー散乱, 非弾性散乱, 精密X線回折
	二軸ゴニオメータ, 高分解能ゴニオメータ, 真空封止アンジュレータ (6.2-80keV), APD検出器, NaI検出器, PIN検出器, クライオスタット (3.8-500K), 精密架台	
8	BL10XU: 高圧構造物性	超高圧構造物性
	超高圧ダイヤモンドアンビル装置 (150GPa), イメージングプレート回折計, イオンチャンバー, 真空封止アンジュレータ (15-35keV; 高圧ステーション使用時), ルビー圧力測定装置, 高圧用クライオスタット (70GPa, 10-300K), レーザー加熱システム (150GPa, 3,000K) (申請にあたっては、事前にBL担当者 (大石) に連絡のこと) 従来の高輝度XAFSはBL37XUに移動しました。	

9	BL13XU：表面界面構造解析	表面・界面構造解析，対象；無機・金属表面， 結晶（無機・金属・有機）の薄膜界面，固液界面
<p>大気中の多軸回折計，薄膜用回折計，超高真空用回折計，試料表面 作成用超高真空チャンバー， 標準真空封止アンジュレータ（6-33keV using the 1st and 3rd harmonics） Ge半導体検出器，SDD 検出器，NaI検出器，Si Pin フォト ダイオード検出器，精密架台， 大気中での試料加熱（300 まで可能）イメージングプレート（ただし読取装置は共用装置を利用すること） BL13XUの利用を初めて希望する方，また，これまでとは異なる測定法を希望する方は， BL担当者（o-sakata@spring8.or.jp）まで申請前に連絡してください。</p>		
10	BL19B2：産業利用	産業応用：XAFS，X線回折（粉末回折・応力・反射率・GIXD測定等） イメージング
<p>八軸回折計（C型 クレドール），湾曲型イメージングプレート搭載大型デバイセラーカメラ， 偏向電磁石（4.8-72keV）， Lytle-type検出器，単素子SSD，単素子SDD，19素子SSD，転換電子収量検出器，イオンチャンバー， 高分解能画像検出器（ビームモニタ，X線ズーミング管）， デバイセラーカメラ専用窒素ガス吹付型低温・高温装置（100-300K, 300-1000K）</p>		
11	BL20B2：医学・イメージング	アンジオグラフィー，トモグラフィー，屈折イメージング， トポグラフィー
<p>汎用回折計， 偏向電磁石（8.4-72.3keV, Si 311 double crystal）， 高分解能画像検出器（分解能10μm程度）， 大面積画像検出器（視野12cm四方）， 中尺ビームライン（215m）， 最大ビームサイズ（300mm（H）\times15mm（V）；実験ハッチ2,3， 60mm（H）\times4mm（V）；実験ハッチ1）</p>		
12	BL20XU：医学・イメージング	イメージング技術，X線顕微鏡，コヒーレントX線光学，極小角散乱
<p>イメージング用精密回折計， 真空封止アンジュレータ：周期長26mm, 最大K値2.0，利用可能エネルギー領域7.62keV 以上 標準二結晶モノクロメータ：Si111（7.62~37.7keV），又は511（~113keV），液体窒素冷却 イオンチャンバー，シンチレーションカウンタ，Ge - SSD， 高分解能画像検出器（ビームモニタ，X線ズーミング管）， 位相CTおよび吸収マイクロCT（担当者との事前打ち合わせ要） 試料準備用クリーンブース（リング棟実験ホール），X線イメージインテンシファイア（Be窓，4インチ型）</p>		
13	BL25SU：軟X線固体分光	高分解能光電子分光，光電子回折・ホログラフィー，磁気円二色性， 光電子顕微鏡
<p>光電子分光装置，磁気円二色性測定装置，二次元球形エネルギー分析器，光電子顕微鏡， ヘリカルアンジュレータ（0.22-2keV, エネルギー分解能E/ E > 10,000）</p>		
14	BL27SU：軟X線光化学	高分解能軟X線吸収分光，高分解能光電子分光， イオン分光,電子-イオン同時計数測定，軟X線発光分光，照射実験
<p>軟X線CVD実験装置， 軟X線光化学実験装置（リフレクトロン型飛行時間質量分析装置，円筒鏡型電子エネルギー分析装置）， 気相用光電子分光装置（ガスセル・ドップラフリー分子ビーム），超音速分子線発生装置， 反跳イオン運動量測定装置（申請に先立って事前に産総研 斉藤則生氏との打ち合わせを必要とする）， 軟X線表面分析装置（光電子分析装置・発光分光器）（申請に先立って事前に理研 高田恭孝氏 （takatay@spring8.or.jp）との打ち合わせを必要とする）， 8の字アンジュレータ（0.3（0.15）-2.7keV, エネルギー分解能E/ E > 10,000）</p>		
15	BL28B2：白色X線回折	白色X線回折，白色X線トポグラフィー，エネルギー分散型時分割XAFS
<p>汎用精密回折計，時分割XAFS測定装置（9~40keV，分解能：数ミリ秒~数秒） 偏向電磁石（白色5keV~）， X線テレビ，大面積画像検出器（視野12cm四方），イメージングプレート， フロー式クライオスタット（3.8K~），赤外加熱システム（~1,800K），Ge-SSD</p>		

16	BL35XU : 高分解能非弾性散乱	X線非弾性散乱 (IXS), 核共鳴散乱 (NRS)
<p>Please contact BL staff when making a new proposal. Available for 2005A (see also bl35www.spring8.or.jp) IXS With 12 Analyzer Crystals and 1, 1.5, 3 or 6 meV resolution. Nuclear Resonant Scattering with ¹⁶¹Dy or ¹¹⁹Sn. Sample Environments: Closed cycle He cryosta (~ 10-300K) LN2 cryostat (~ 80-300K), Furnace (~ 300-1000K)</p>		
17	BL37XU : 分光分析	微小領域元素分析, 極微量分析, 状態分析, 蛍光X線ホログラフィー, 高エネルギー蛍光X線分析, 高輝度XAFS
<p>汎用X線分析装置, 多目的回折計, 高エネルギー蛍光X線分析装置, 蛍光X線分析システム 真空封止アンジュレータ (5-37keV, 75.5keV), 蛍光XAFS測定用Ge19素子検出器 (申請にあたっては, 事前にBL担当者に連絡のこと), Si (Li) -SSD, Ge-SSD, SDD, イオンチャンパー,</p>		
18	BL38B1 : 構造生物学III	生体高分子結晶構造解析
<p>偏向電磁石 (6-17.5keV), 生体高分子結晶構造解析装置 (CCD検出器, 大型IP検出器) 多波長異常分散法用XAFSスペクトル測定システム, 構造解析用ワークステーション, 液体窒素冷却装置 (85-375K)</p>		
19	BL39XU : 磁性材料	磁気円二色性 (XMCD), 磁気散乱
<p>磁気散乱用回折計 (試料用2軸 + 偏光解析用4軸), 真空封止アンジュレータ (5-37keV), ダイヤモンド円偏光素子 (X線移相子, 5-16keVで使用可能), イオンチャンパー, 単素子Si (Li) SSD, Lytle-type 検出器 (multigrad型), PINフォトダイオード, NaIシンチレーションカウンター, APD検出器, SDD検出器, 常伝導マグネット (2 T), ヘリウム循環型クライオスタット (20-300K), 超伝導マグネット (10 T) + クライオスタット (1.7-300K) XMCD用高圧DACセル (常圧 ~ 20GPa, 室温のみ可能) (申請にあたっては事前に広大 石松直樹氏 (naoki@sci.hiroshima-u.ac.jp) との打ち合わせを必要とする) 顕微XMCD用 KBミラー (集光ビームサイズ < 2 μ m) (申請にあたっては事前にビームライン担当者 との打ち合わせを必要とする)</p>		
20	BL40B2 : 構造生物学II	小角散乱測定
<p>小角散乱測定装置 (イメージングプレートおよびCCD検出器), サンプル周りのセットアップは測定にあわせて変更可能。 特殊なサンプルセルを使用されるときは担当者と事前に打ち合わせが必要。 偏向電磁石 (7-18keV),</p>		
21	BL40XU : 高フラックス	高輝度X線を利用した各種実験 (高速時分割実験, 分析など)
<p>ヘリカルアンジュレータ (8-17keV), 高フラックス (試料位置で0.2mm²内に10¹⁵光子/秒), エネルギー分解能 (約2%, 結晶単色器なし, 収束鏡あり), 高速二次元X線検出器, 高速X線シャッター (担当者との事前打ち合わせが必要)</p>		
22	BL41XU : 構造生物学	生体高分子結晶構造解析
<p>生体高分子結晶構造解析装置 (イメージングプレートおよびCCD検出器), 多波長異常回折法用XAFSシステム, 構造解析用ワークステーション, 真空封止アンジュレータ (6-38keV), 液体窒素冷却装置 (85-375K), ヘリウムガス冷却装置 (35-300K) 17.5keV以上の高エネルギーX線を使用する際は、課題申請時にBL担当者との打ち合わせが必要。 イメージングプレート利用希望の場合は、課題申請時に希望理由を記載のこと。</p>		

23	BL43IR：赤外物性	顕微分光，表面科学，吸収・反射分光，磁気光学
赤外顕微分光装置（マッピングステージ，フロー式クライオスタット，低温高压セル，高温高压セル），赤外表面科学装置（赤外反射吸収分光，フロー式クライオスタット），吸収反射分光装置（放射光同期ピコ秒レーザーシステム，クライオスタット），磁気光学顕微分光装置（14T超電導電磁石，フロー式クライオスタット）		
24	BL46XU：R&D	磁気回折，磁場中回折，共鳴散乱など
多軸回折計，真空封止ハイブリッドアンジュレータ（12-24keV，1次光で供給可能），電磁石（max 0.6 Tesla, T=10-300K）クライオスタット（10-300K），電気炉（300-1500K）		
25	BL47XU：光電子分光・マイクロCT	硬X線光電子分光，X線CT
真空封止アンジュレータ，液体窒素冷却結晶単色器（5.2-37.7keV） 申請に先立ち事前にビームライン担当者及び下記装置担当者との打ち合わせを必要とする。 実験ハッチ1：オープンスペース（2005年4月現時点での判断） 実験ハッチ2：硬X線光電子分光（小林：koba_kei@spring8.or.jp），マイクロトモグラフィ（上杉：ueken@spring8.or.jp） 試料準備用クリーンブース		

理研ビームライン

26	BL17SU：理研 物理科学	高分解能軟X線吸収分光、高分解能光電子分光、軟X線発光分光、多価イオン分光、電子分析器付き光電子顕微鏡
BL17SUへの共同利用申請の際には、事前に以下の各実験装置担当者との打ち合わせを必要とする。 光電子顕微鏡の利用に関しては、JASRIの持ち込み装置であるため、装置担当者 郭（fz-guo@spring8.or.jp）または木下（toyohiko@spring8.or.jp）との事前打ち合わせが必要である。持ち込みスペースの利用申請については、事前に理研 播磨研究所 辛 放射光物性研究室 主任研究員（sshin@spring8.or.jp）及びビームライン担当者 大浦（oura@spring8.or.jp）竹内（takeuch@spring8.or.jp）との打ち合わせを必要とする。 光電子分光装置（理研 堀場：horiba@spring8.or.jp） 軟X線発光分光装置（理研 原田：harada@spring8.or.jp） 多価イオン光吸収実験装置（理研 大浦：oura@spring8.or.jp） 電子分析器付き光電子顕微鏡（JASRI 郭：fz-guo@spring8.or.jp） 持ち込みスペース（装置用エリア：約2.3m（L）×2m（W）ビーム高さ：約1317mm） 可変偏光アンジュレータ（左右円偏光、楕円偏光、水平・垂直偏光、0.3-2.0keV）		
27	BL19LXU：理研 物理科学	高輝度X線放射光科学
27m長真空封止アンジュレータ（7.2-18keV（1st），22-51keV（3rd）），光学定盤各種検出器（PINフォトダイオード，イオンチャンパー，APD）		
28	BL26B1：理研 構造ゲノム	生体高分子結晶構造解析
偏向電磁石光源（6～17keV） CCD検出器（RIGAKU Jupiter210），IP検出器（RIGAKU R-AXIS V） 試料用 ゴニオメータ，吹付低温装置（85K～室温）		
29	BL29XU：理研 物理科学	可干渉X線光学（長尺ビームラインを共同利用に提供）
真空封止アンジュレータ（5～37keV） 各種検出器（イオンチャンパー，PINフォトダイオード，APD），光学定盤		
30	BL44B2：理研 構造生物学	生体高分子結晶構造解析
CCD検出器（ADSC Q210），クライオスタット（60-350K，90-375K），偏向電磁石（10-18.5keV）		
31	BL45XU：理研 構造生物学	（小角散乱ステーションのみ共同利用に提供）
高分解能小角散乱装置，真空封止型垂直アンジュレータ（13.8keV） イメージングプレート，イメージインテンシファイヤー型CCD検出器		

専用ビームライン

(今回より重点ナノテクノロジー支援研究課題のみの募集となりました)

32	BL11XU：材料科学	核共鳴散乱，X線非弾性散乱，表面・界面科学
真空封止アンジュレータ（7-70keV） 精密ゴニオメータ，X線非弾性散乱回折計，分子線エピタキシー（MBE）回折計 申請に先立って事前にビームライン担当者および各実験装置担当者との打ち合わせを必要とする。 ビームライン（塩飽：shiwaku@spring8.or.jp） 核共鳴散乱（三井：taka@spring8.or.jp） 非弾性散乱（稲見：inami@spring8.or.jp） 表面・界面科学（海津：kaizu@spring8.or.jp）		
33	BL14B1：材料科学	高圧物性研究，表面・界面科学，結晶構造研究
申請に先立って、事前に担当者との打合せを済ませておくこと。 白色実験ハッチ（片山：katayama@spring8.or.jp） 単色実験ハッチ（西畑：yasuon@spring8.or.jp） 超高圧発生プレス，型多軸回折計， 偏向電磁石（単色;5-90keV / 白色;5-150keV）		
34	BL15XU：広エネルギー帯域先端材料解析	高エネルギーXPS，粉末X線回折，高精度小角散乱，波長分散蛍光X線分光
利用希望の場合は、事前に物材機構・中沢（Nakazawa.Hiromoto@nims.go.jp）との打ち合わせをお願い致します。 高分解能角度分解光電子分光（光電子の運動エネルギー：0-4.75keV） 高分解能粉末X線回折計（8keVでのSi粉末111反射の半値全幅は0.01度未満，2軸スキャンでの高精度小角散乱実験も可能） 高分解能二結晶型蛍光分光（蛍光のエネルギー1.2-14keV、分光結晶 Si(111), Si(220), Ge(111) など） リポルバー型アンジュレータ（1-20keV：108-13photons/sec，E/E：10-4） 装置持ち込みの場合は申請に先立って十分な日程の余裕を持ってビームライン担当者との技術的可否の打ち合わせを必要とする。		
35	BL22XU：量子構造物性	高圧物性研究、共鳴回折実験
真空封止アンジュレータ（3-70keV） 共同利用申請の際には、事前に以下の装置担当者との打合せを求める。 高温高圧その場観察用X線回折装置（片山：katayama@spring8.or.jp） 2軸回折計（石井：kenji@spring8.or.jp、稲見：inami@spring8.or.jp）		
36	BL23SU：重元素科学	軟X線分光，表面化学，放射線生物
BL23SUの各実験装置に際しては、以下の装置担当者と事前打ち合わせを必要とする。 表面化学反応分析装置（原研 寺岡：yteraoka@spring8.or.jp） ESR装置（原研 藤井：fujiken@popsvr.tokai.jaeri.go.jp） 光電子分光装置（原研 岡根：okanet@spring8.or.jp） 磁気円二色性装置（原研 斎藤：ysaitoh@spring8.or.jp） 可変偏光アンジュレータ（0.5-1.5keV）		

表1 審査希望分野表

分科	記号	審査分野
生命科学	L1	蛋白質結晶構造解析
	L2	生体試料小角散乱
	L3	医学利用、バイオメディカルイメージング
散乱・回折	D1a	遷移金属酸化物、希土類化合物、強相関電子系物質、誘電体
	D1b	有機結晶、有機金属結晶、フラーレン結晶、液晶
	D1c	金属、金属間化合物、準結晶、アモルファス、液体
	D1d	表面界面構造、ナノ粒子構造
	D2a	高圧物性
	D2b	地球科学（高圧）
	D3	材料イメージング（トポグラフィー、CT）
	D4a	コンプトン散乱
	D4b	核共鳴散乱
	D4c	高分解能X線散乱
	D5	小角・広角散乱（高分子）
XAFS・蛍光分析	Xa	XAFS
	Xb	蛍光X線分析、微量分析
分光	S1	固体電子分光物性、赤外物性、PEEM
	S2	光化学
	S3	MCD（軟X線、硬X線）
産業利用	I	産業利用

表2 研究分野分類表

大分類	小分類名称	キーワードの一例
加速器科学・ビームライン技術研究		
加速器科学	線型加速器	電子銃、高周波加速、電磁石、真空技術、診断技術
	円型加速器	軌道解析、高周波加速、電磁石、真空技術、診断技術
	加速器制御	制御機器、ネットワーク、制御ソフトウェア
	次世代光源	次世代光源加速器、自由電子レーザー
	加速器利用線源	線源、陽電子源、中性子源
	レーザー電子光源	逆コンプトン散乱
ビームライン技術	その他	
	放射光光源	挿入光源、偏向磁石光源
	ビームライン技術	フロントエンド（基幹チャンネル）、輸送チャンネル機器、真空工学、熱応力解析、ビーム診断
	光学系	光学機器（分光、偏光、集光）、光学素子、測定法開発
	検出系	ガス検出器、固体検出器、高速時分割測定
	制御系	ハードウェア、ソフトウェア、インターロック
	放射線物理	X線標準場、遮蔽計算
	ビームライン診断	X線強度モニター、ビームポジションモニター
素粒子・原子核科学	その他	
	素粒子物理	素粒子、宇宙線、高エネルギー物理学、宇宙物理
	原子核科学	核物理
	その他	
放射光利用研究		
生命科学	構造生物学（結晶）	タンパク質構造・機能、酵素反応
	構造生物学（非結晶）	筋肉、2次元膜、骨細胞、タンパク質溶液、構造・機能
	生物物理学	生体膜・受容体・チャンネル、フォールディング、1分子計測
	医薬作用解析	医薬-タンパク質複合体構造、医薬分子設計、ゲノム製薬
	細胞生物学	細胞構造、細胞機能
	放射線生物学	細胞・DNAレベルの放射線効果
	生物イメージング	イメージング、トモグラフィー、X線CT
	その他	
	その他	

大分類	小分類名称	キーワードの一例
医学応用	生体イメージング	イメージング、トモグラフィー、X線CT
	放射線診断	医学診断イメージング、疾患部微細構造
	放射線治療	放射線効果
	医学材料	医科用材料、歯科用材料、生体機能材料
	その他	
物質科学・材料科学	構造物性	結晶構造、電子密度分布
	構造相転移	構造相転移、磁気・電子相転移、構造ゆらぎ、時間分解構造解析
	ナノ構造物質	量子ナノ構造、ナノ材料、メソスコピック系、分子構造、ガス吸着
	表面界面物性	表面界面構造、表面変調構造、薄膜、多層膜構造、サーファクタント効果、表面あらさ 結晶成長過程、表面融解、表面新物質層
	ランダム物質構造	アモルファス物質、液体・融体、ガラス、気体、超臨界物質
	ソフトマテリアル物性	ソフトマテリアル、高分子、有機薄膜、液晶
	電子構造	電子構造、バンド構造
	半導体物性	半導体、分子性固体・有機半導体、電子デバイス
	光物性	イオン結晶
	誘電体物性	誘電体、構造相転移
	金属物性	金属、準結晶、イメージング
	超伝導物性	超伝導体、有機超伝導体
	磁気物性	磁気構造、磁性体、磁性多層膜、磁場誘起構造相転移、有機磁性体
	強相関電子系物質	
	格子・原子ダイナミクス	フォノン物性、弾性波、原子拡散
原子核物性	超微細相互作用、核共鳴、メスバウアー効果、核励起	
その他		
化学	原子・分子	原子・分子・クラスター分光、イオン脱離、多価イオン原子過程、放射光励起化学反応、励起分子構造
	無機化学	無機固体、金属錯体
	有機化学	有機固体、有機光化学
	高分子化学	高分子構造、繊維
	表面・界面化学	表面化学反応、触媒反応、化学プロセス、溶液化学、ガス吸着
	電気化学	電気化学反応、電極反応、電池電極材料、電析
	化学分析	微量元素分析、状態分析
	化学状態解析	化学結合、脂質、構造・機能
	赤外物性	分子振動、赤外顕微分光、磁気光学
	照射効果	内殻励起反応、新素材創製、素材改質、X線CVD
	その他	
地球・惑星科学	地球科学	固体地球科学、地殻・マントル・コア物質、地質学
	岩石・鉱物学	地球惑星物質、マグマ、鉱物資源
	高温・高圧物性	粘性、音速
	その他	
環境科学	環境分析科学	微量化学分析、マッピング
	環境物質	エアロゾル、環境汚染物質
	生体物質	生体微量物質分析
	その他	
産業利用	エレクトロニクス	電子デバイス、量子デバイス、光素子、ストレージ素子、表示素子、圧電素子、デバイス評価
	半導体・電子材料	半導体材料、電子材料、素子用薄膜、蛍光体
	磁性材料	磁性材料、磁気多層膜、スピントロニクス、磁気デバイス
	超伝導材料	超伝導体材料、超伝導デバイス
	金属・構造材料	金属材料、構造機能材料、機械部品、建築材料、格子歪み、残留応力、腐食、破壊、イメージング
	無機材料	無機材料、セラミックス、ガラス、ガス吸着材料、微粒子、コロイド
	有機材料	高分子、有機材料、液晶、ゴム、繊維、フィルム、イメージング
	触媒化学	工業触媒、触媒作用、表面化学反応
	電気化学	電気化学反応、電極反応、電池電極材料
	環境材料	環境分析、汚染処理、環境触媒、リサイクル、環境負荷低減技術
	エネルギー・資源	燃料電池、太陽電池、デバイス
	製薬	タンパク結晶、薬用低分子結晶、薬品
	食品・生活用品	食品、化粧品、生活用品
	微細加工・照射効果	リソグラフィー、LIGA、電析、X線照射反応
その他		
その他	考古学	
	鑑識科学	科学捜査
	安全管理	
	その他	

表3 研究手法分類表

大分類	小分類名称	キーワードの一例
X線回折	単結晶回折	
	粉末結晶回折	
	表面・界面構造回折	CTR、配向解析、微小角入射法
	定在波法	
	反射率法	
	歪み解析 その他	
X線散乱	小角散乱	微小角散乱
	中角散乱	非晶質・液体散乱
	散漫散乱	
	その他	
X線磁気散乱	磁気散乱	磁気回折、磁気共鳴散乱
	ATS散乱	
	その他	
X線非弾性散乱	非弾性散乱	高分解能非弾性散乱
	核共鳴散乱	核励起
	コンプトン散乱	コンプトン磁気散乱
	発光分光	
	その他	
X線・ 軟X線吸収分光	XAFS	XANES、DAFS、マッピング
	蛍光X線分析	元素・質量分析、化学状態分析、マッピング
	磁気吸収	磁気円二色性、LS分離、マッピング
	軟X線分光	発光分光
	赤外分光	赤外顕微鏡
	その他	
光電子分光	光電子分光	
	光電子顕微鏡 (PEEM)	
	光電子回折	
	コインシデンス分光	
	その他	
トポグラフィー、 トモグラフィー	X線トポグラフィ	
	X線CT	
	X線ホログラフィ	
	光電子ホログラフィ	
	スペckル分光	
	その他	
イメージング	顕微法	
	顕微分光法	
	その他	
X線光学	回折・散乱・吸収	測定方法、基礎理論
	共鳴散乱	異常散乱・回折法原理
	位相光学	干渉計、コヒーレンス
	量子光学	非線形光学、強度ゆらぎ
	その他	
特殊環境実験	高圧、高温、強磁場、 その他	
その他	その他	

SPring-8利用研究課題申請書 (成果非専有用) 入力要領

はじめに

研究分野が多少異なる審査員が読んでも、その提案の重要性が理解できるように、研究の目的や方法等それぞれの項目について具体的に記述して下さい。また、半年の共同利用実験のチームタイムの範囲内で実行できる内容の申請を行って下さい。包括的な内容の申請は審査の対象となりません。

[基本情報]

実験課題名 (日本語および英語)

実験方法や測定対象を明らかにした6カ月の共同利用期間で遂行できる具体的な実験課題名を、日本語および英語で入力して下さい。包括的な課題名による申請は審査の対象となりません。なお、申請者の優先性の保護のため実験が終了するまで課題名を公表しません。(即ち、課題の採択時には、実験責任者の名前と所属、配分シフト数のみ公表し、課題が終了後に課題名を公表します。)

審査希望分野

ポップアップメニューの中から希望する審査分野を1つ選んで下さい。ポップアップメニューの内容は表1に示します。

研究分野分類、および研究手法分類

それぞれのポップアップメニューの中から、あてはまるものを選び、キーワードを入力して下さい。表2、表3にキーワードの一例を挙げていますが、これに当てはまらないキーワードでも構いません。なお、「その他」を選んだ場合は具体的に分類名称を記入して下さい。

希望チームライン

ポップアップメニューの中から希望する順番にチームライン番号を選んで下さい。また、その理由については[実験方法]の「チームライン選定の理由」で明らかにして下さい。2本のチームラインの利用を希望される場合(例えば、「BL01B1又はBL28B2」ではなく「BL01B1とBL28B2」を希望する場合は、各チームラインごとに申請して下さい。

チームラインの整備状況は、ホームページで確認して下さい。

所要シフト数

実験目的を達成するために必要なチームタイムをシフト数(1シフト=8時間)で入力して下さい。このときに、この課題は6カ月の間に共同利用として実施することを考慮してください。実験を分けて行いたいものは1回に必要なシフト数と何回行いたいを入力して下さい。合計シフト数は自動で計算されます。(画面左側メニューの「入力内容の確認・提出」で確認できます。)また、算出根拠を[実験方法]の「シフト数算出の根拠」で入力して下さい。

特殊な運転モードの希望

特殊な運転モードを希望される場合は、ポップアップメニューから選んで下さい。希望がない場合は、運転モードの選択は施設の担当者に一任していただきます。マルチバンチを希望される場合、マルチバンチでなければ実験ができない場合は「マルチバンチ(必須)」を、マルチバンチでなくても原理的には実験できるが、マルチバンチで実験するほうがよりよい場合は「マルチバンチ(好ましい)」を選んで下さい。セベラルバンチを希望される場合は「セベラルバンチ」を選択し、フィリングモードを、希望する順番にポップアップメニューの中から選んで下さい。なお、A、B、C、D、Eの各モードはA期とB期で異なりますので、必ず募集案内のホームページで確認してください。メニューに示した5種類のモード以外を希望される場合は「その他」の欄にフィリングの詳細と必要理由を入力して下さい。

来所できない時期

原則として、審査後申請者に利用時期についての問い合わせを致しませんので、チームタイムの配分を受けても実験ができない時期がわかっている場合は、記述して下さい。

[共同実験者]

共同実験者

実際にチームラインを使って実験を行う人の、各ユーザーカード番号を入力後『ユーザー情報参照』ボタンをクリックして下さい。(共同実験者もユーザーカード番号が必要です。ユーザーカード番号を取得をされていない共同実験者には、ユーザー登録を依頼して下さい。ユーザーカード番号は、ユーザー登録完了後、登録されたメールアドレス宛に通知されます。

[安全に関する記述、対策]

安全に関する手続きが必要なもの

該当するものがあれば、ポップアップメニューの中から選んで下さい。

該当する試料を用いて実験を行う場合は、別途手続きが必要です。Web申請後、速やかに必要な書類をUser Information Webサイトからダウンロードし、利用業務部へ送付して下さい。尚、書類には利用日、BL名等を記入する欄がありますが、未定の箇所は空欄で結構です。

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

- ・国際規制物資

<http://safety.spring8.or.jp/radiation/uranium.html>

- ・密封状放射性物質

<http://safety.spring8.or.jp/radiation/check.html>

- ・微生物実験

http://www.spring8.or.jp/j/user_info/biosafety/biosample.html

- ・遺伝子組換え実験

http://www.spring8.or.jp/j/user_info/biosafety/biosample.html

動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）

動物の持ち込みがある場合は、「持込み有」にチェックして下さい。（課題が採択されましたら、「動物実験計画書」を提出していただきます。

測定試料及びその他の物質

施設に持ち込む全ての試料及び物質等について、その名称、形態（形状）、量、性質、使用目的、保存方法及び処理方法、安全対策を入力して下さい。

「物質名」について：一般名、構造式など（XAFSを測定する場合は組成も）を記入し、略称や頭文字のみの表記は避けて下さい。CAS番号があるものでも自分で調整したものは「自作」、自分で創成したもので物性値が未知の場合は「創製」と入力して下さい。

「物質」について：発火性、引火性、可燃性、爆発性、酸化性、禁水性、強酸性、腐食性、有毒性、発ガン性（催奇性）、放射性、感染性、遺伝子組換え体、無害などできるだけ詳しく入力して下さい。

入力漏れがある場合は、不採択となる可能性があります。

また、入力にあたり、画面解像度によってはこれらの記入欄（フォーム）の幅が小さくなるため、入

力しづらいことも考えられます。誤動作や入力ミスを防ぐためにも、あらかじめ表計算ソフト等で下書きを作成し、データを貼り付けることをお勧めします。

SPring-8に持ち込まれた物品は、全て持ち帰っていただくことになっています。

持ち込む装置、器具

施設に持ち込む全ての装置、器具等について、その名称、仕様、安全対策を入力して下さい。持ち込み装置、器具等がない場合は、「なし」と入力して下さい。

自分で作製した装置、器具は「自作」、既製品の場合はその旨、付記して下さい。入力漏れがある場合は、不採択となる可能性があります。

SPring-8に持ち込まれた物品は、全て持ち帰っていただくことになっています。

必要とする施設の装置、器具

SPring-8のホームページのビームラインのページ（<http://www.spring8.or.jp/j/facility/bl/>）で確認した後、記入して下さい。

[提案理由など]

提案理由

「新規提案」：

研究分野が多少異なる審査員が読んでもその提案の重要性が理解できるように、研究の意義、目的等それぞれの項目について具体的に記述して下さい。包括的な内容の申請は審査の対象となりません。期待される成果の中ではSPring-8の寄与する点を具体的に示して下さい。

「継続提案」：

継続を必要とする理由（例：ビームダンプがあり実施できなかった等）を記述して下さい。前回の申請で行われた実験の結果（成果）について具体的に記載し、問題点があった場合はその解決策を示したうえ、今回の提案で実施を計画している内容を具体的に示して下さい。試料の変更、実験方法に大きな変更を伴うものについては「新規提案」で申請して下さい。採択課題のビームタイムを終了後も研究が続く場合や実験責任者が変わる場合は、「新規提案」で申請して下さい。

「緊急提案」：

緊急に実験が必要になったときに提案して下さい

い。SPring-8のビームラインによる実験が不可欠であり、かつ、緊急性が必要な理由を具体的に示すとともに、その波及効果についても示して下さい。

「留保提案」:

留保ビームタイムに応募する場合の提案です。新規提案に準じます。

申請に関わる準備状況、これまでに採択された課題との関係、他に申請課題がある場合はその課題との関係、同種実験の経験

期待される成果を得るために、これまでに得た研究成果並びに装置、試料の準備状況等を具体的に示して下さい。これまでに採択された課題との関係や関連テーマで他に申請があるときは、その課題との関係を記述してください。同種実験の経験についても記述して下さい。

本研究に関わる実験責任者の発表論文リスト (SPring-8での結果に*印) と、これまでの研究の進捗状況がわかるように、各論文について2行程度の説明を記述。

審査の対象となります。論文リスト(著者名、雑誌名、巻、発行年、ページ)と各論文について、2行程度の説明を記述してください。SPring-8で行った課題の成果を発表した論文には*印を付け、SPring-8で行った課題の進捗がわかるような説明を記述してください。

[実験方法]

実験の方法(レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度等を明確にする)

新しい測定法の場合には、(図注)を用いて実験の特徴が明らかになるようにして下さい。

注) 図のアップロード方法については、本文279ページ「10-5. 課題申請～画像ファイル添付」をご参照下さい。

ビームライン選定の理由

最適のビームラインを選ぶため、SPring-8のビームラインの整備状況をWWWホームページ(<http://www.spring8.or.jp/j/facility/bl/>)で確認して下さい。不明な点はホームページに記載されているビームライン担当者までお問い合わせ下さい。

使用するエネルギー(波長)又は特性線(例:Pb-L)

ビームラインのどのような特性(例えば、エネルギー範囲、集光特性、測定器等)に着目して利用を希望するビームラインを選定したのかについて説明して下さい。XAFSの測定の場合は測定法(透過法、蛍光法それもライトル検出器か半導体検出器-シングル、マルチ、等)、元素、吸収端、試料濃度、試料のマトリックスの種類を必ず記述して下さい。

シフト数の算出根拠

要求するシフト数の算出根拠を記述して下さい。

シフト数の算出をするための不明な点はホームページに記載されているビームライン担当者までお問い合わせ下さい。

[構造解析の対象]

(申請形式の選択ページで“蛋白質結晶構造解析”をチェックした場合のみ)

構造解析の対象についての情報

SPring-8での実験について、審査に必要な項目があげてありますので、できるだけ漏れなく入力してください。なお、構造解析の対象は3種類までしか記入できないため、欄が不足する場合は利用業務部までお問い合わせ下さい。

また、入力にあたり、画面解像度によってはこれらの記入欄(フォーム)の幅が小さくなるため、入力しづらいことも考えられます。誤動作や入力ミスを防ぐためにも、あらかじめ表計算ソフト等で下書きを作成し、データを貼り付けることをお勧めします。

補足: “蛋白質結晶構造解析”選択時の『実験方法』記入欄は、ビームライン選定の理由並びにシフト数算出の根拠のみとなります。

Spring-8 利用研究課題（一般課題）の申請画面

< 基本情報 >

<p>課題申請</p> <p>ログインユーザー ユーザー:000001 高橋 太郎 で作業中</p> <p>申請情報 申請番号:未保存 / 一般課題 / 成果非 所有 / 2005B</p> <p>ページ移動</p> <p>基本情報</p> <p>共同実験者</p> <p>安全に関する記述、対策</p> <p>提案理由など</p> <p>実験方法</p> <p>画像ファイル添付</p> <p>保存</p> <p>一時保存</p> <p>入力内容確認・提出</p> <p>印刷</p> <p>移動</p> <p>課題申請トップ</p> <p>User Information トップ</p> <p>ログアウト</p>	実験課題名 (日本語)	<input type="text"/>
	実験課題名 (英語)	<input type="text"/>
	審査希望分野	<input type="text"/>
	研究分野分類	<input type="text"/>
	研究分野分類キーワード	<input type="text"/>
	研究手法分類	<input type="text"/>
	研究手法分類キーワード	<input type="text"/>
	希望ビームライン	第一希望: <input type="text"/> 第二希望: <input type="text"/> 第三希望: <input type="text"/>
	所要シフト数 [1シフト=8時間]	D シフト x D 回 D シフト x D 回 D シフト x D 回
	特殊な運転モード	<input type="text"/>
	セベラルパンチ希望種別	第一希望: <input type="text"/> 第二希望: <input type="text"/> 第三希望: <input type="text"/> 第四希望: <input type="text"/> 第五希望: <input type="text"/> その他: <input type="text"/>
	実行できない時期	<input type="text"/>

< 共同実験者 >

<p>課題申請</p> <p>ログインユーザー ユーザー:000001 高橋 太郎 で作業中</p> <p>申請情報 申請番号:未保存 / 一般課題 / 成果非 所有 / 2005B</p> <p>ページ移動</p> <p>基本情報</p> <p>共同実験者</p> <p>安全に関する記述、対策</p> <p>提案理由など</p> <p>実験方法</p> <p>画像ファイル添付</p>	共同実験者			
	ユーザーカード番号	氏名	所属	行列表
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ユーザーカード番号を入力後、「ユーザー情報参照」ボタンをクリックしてください。				

< 安全に関する記述、対策 >

課題申請

ログインユーザー
ユーザー: 0000001 実験室: 未設定で作業中

申請情報
申請番号: 未保存 / 一般課題 / 成実伸
専任 / 2005B

ページ移動

- 基本情報
- 高圧実験室
- 安全に関する記述、対策
- 実験内容など
- 実験方法
- 実験ファイル添付

操作

- 行追加 (測定資料及びその他の物質)
- 行追加 (持ち込み装置、取具)

保存

- 一時保存
- 入力内容確認・提出
- 削除

移動

- 課題申請トップ
- User Information トップ
- ログアウト

安全に関する手続きが必要なものを [1]:

動物 (ヒトを含む哺乳類、鳥類、爬虫類) 対応済み

必要とする施設や装置、取具

[1] 以下に該当する物質および実験は、使用または実験前に手続きが必要なので、実験前に必要書類を提出すること。

測定資料及びその他の物質

物質名 [2]	状態 (形状) [3]	量 [4]	性質 [5]	使用目的 [6]	保存方法及び処理方法	安全対策	評価
							評価
							評価
							評価
							評価
							評価

[2] 組成も記入すること。状態不可。
 [3] 状態とは持ち込むときの状態、形状とは中の物質の状態をいふ (例: キャピラリー (液体)、ボンベ (ガス)、プレート (固体) など)。
 [4] 量位をつけること。
 [5] 放射性、毒性、可燃性、腐食性、薬毒など。
 [6] 測定、洗浄、冷却、照射など。

持ち込み装置、取具

装置名	仕様 [7]	安全対策	評価
			評価
			評価
			評価
			評価
			評価

[7] 電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

< 提案理由など >

課題申請

ログインユーザー
ユーザー: 0000001 実験室: 未設定で作業中

申請情報
申請番号: 未保存 / 一般課題 / 成実伸
専任 / 2005B

ページ移動

- 基本情報
- 高圧実験室
- 安全に関する記述、対策
- 実験内容など
- 実験方法
- 実験ファイル添付

保存

- 一時保存
- 入力内容確認・提出
- 削除

移動

- 課題申請トップ
- User Information トップ
- ログアウト

装置の種類と提案理由
 新装置では研究の意義、目的、特色、期待される成果、SPring-8を必要とする理由、実験室では既存の装置の不足、増設を必要とする理由、緊急装置では研究の意義、SPring-8を必要とする理由、緊急課題を希望する理由を必ず含むこと。

本申請に関する現状状況、これまでに採択された課題との関係、他に申請課題がある場合はその課題との関係、前種実証の結果、

本研究に関する関連論文リスト (SPring-8での結果に*印) と、これまでの研究の進捗状況が分かるように、各論文について2行程度の説明を記述。

< 実験方法 >

課題申請	実験方法 (レイアウト、測定法、検出器、材料の選定などを明確にする)
ログインユーザー ユーザー: 0000001 笹原 雄太郎 で作業中 申請情報 申請番号: 未保存 / 一般課題 / 成果報告 / 2005B ページ移動 基本情報 大見当録者 安全に関する記述、対策 推奨項目など 実験方法 画像ファイル添付	
保存 一時保存 入力内容確認・提出 印刷	ビームライン選定の理由
移動 課題申請トップ User Information トップ ログアウト	
	使用するエネルギー (単位) 又は特性線 (例: Pb-L)
	シフト数算出の概要 (無料課題受取の場合は今回申請されたシフト数の算出概要を記入し、それ以外の項目は前段階から変更がある場合のみ記入して下さい。)

< 画像ファイル添付 >

課題申請	画像ファイル添付 (最大3ファイルまで)		
ログインユーザー ユーザー: 0000001 笹原 雄太郎 で作業中 申請情報 申請番号: 未保存 / 一般課題 / 成果報告 / 2005B ページ移動 基本情報 大見当録者 安全に関する記述、対策 推奨項目など 実験方法 画像ファイル添付	Fig. 1	Fig. 2	Fig. 3
	未登録	未登録	未登録
	<input type="button" value="ファイルを選択"/> ファイルが選..れていま	<input type="button" value="ファイルを選択"/> ファイルが選..れていま	<input type="button" value="ファイルを選択"/> ファイルが選..れていま
	<input type="button" value="アップロード"/> <input type="button" value="リセット"/>		

< 構造解析の対象についての情報 >

構造解析の対象についての情報		#1	#2	#3
サンプル名				
分子量 (モノマー単位)				
分子量 (結晶単位/非晶単位)				
印像・動位分子の構造解析例	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	
動位分子				
1次構造の精確性 (%)				
結晶性				
大きさ				
結晶性の高純性				
成長に要する日数				
子機印像実験				
電子実験				
その他				
構造解析例				
使用X線装置				
予定している解析法 (分解能の向上を目的とする場合は空欄とする。)				
MR法 (重原子法)				
MAAD法 (重原子法)				
MR法 (モデル分子法)				
MR法/MAAD法の場合、重原子 (重原子法) 結晶性の調整状況				
クライオ凍結の凍結状況				

SPring-8利用研究課題オンライン入力要領

1. はじめに

SPring-8では平成17年5月10日から、インターネットを利用した電子申請システムの運用を開始しました。本課題申請システムは、Webブラウザをインターフェイスに用いながら、紙ベースの申請書のメリットも取り入れた設計を目指し、次の特長があります。

- ・ユニコード^{注1)}に基づく入力文字種の多言語対応
- ・図表のアップロードが可能
- ・下書き機能を有し、作成作業の中断・再開が可能
- ・申請課題の履歴を保存し、随意時参照可能^{注2)}
- ・申請時に入力されたデータを引き継ぎ、採択から課題終了までに必要な書類等の作成を支援^{注3)} (申請時の共同実験者を採択時には自動的に実行者登録。ただし採択後に変更可能。試料および薬品等持込申請書入力のために、申請時のデータ参照可能、また利用申込書は実行者登録されている人が自動表示されます。)

2. これまでの方法との違い

申請の際、実験責任者や共同実験者のユーザーカード番号を入力していただくことになりました。ユーザー登録がまだの方は、申請前に登録を行ってください。

誓約書^{注4)}は課題申請と同時に電子申請されます。ただし、成果専有課題及び萌芽的研究支援課題は、実験責任者以外の署名・捺印も必要であるため、別途提出の必要があります。

3. 課題申請の流れ

本システム上での課題申請の流れを図3-1に示します。

まずはじめに、SPring-8 User Information Webサイト [http://user.spring8.or.jp] にアクセスします。

続いて、これまでユーザー登録を行ったことがない方はユーザー登録ページへ、すでにユーザーカード番号を持っている方は課題申請ページに進みます。その際、ユーザー認証が必要なので、トップ

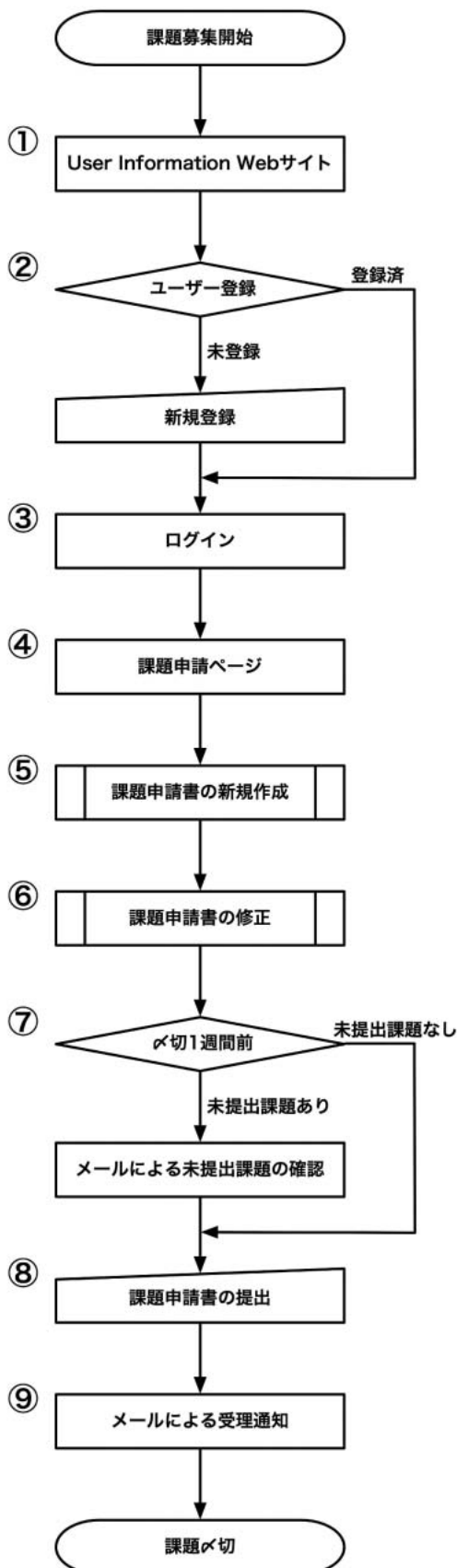


図3-1 課題申請フロー

ページ上で ログイン^{注5)}してください。なお実験責任者は、ログインアカウント^{注6)}のユーザー名で登録されるため、代理で課題申請書を作成する場合は、実験責任者のユーザーカード番号で作業の上、提出する必要があります^{注7)}。

課題申請ページでは、紙ベースの申請書と同様に、新規作成 一時保存 (この時点では提出されない) 内容の修正、といった流れで作業を進めます。一人のユーザーが複数の課題申請書^{注8)}を作成することも可能です。ただし、異なる課題申請書を同時に編集することはできませんのでご注意ください。

申請書の自由記入欄の文面を作成する際は、あらかじめ任意のテキストエディタ等を用いて下書きを用意しておくことをお勧めします。課題申請トップページから下書きファイルをダウンロードできます。これは、入力途中でブラウザが強制終了した場合等に備えるためです。

課題申請書を提出するには、申請画面より 提出のボタンをクリックします。データが正常に送信されれば、メールによる受理通知が実験責任者宛へ送られます。また、締切1週間前に編集中の課題申請書が残っている場合は、未提出である旨がメールで送られてきます。

具体的な画面イメージと申請方法については、次以降のセクションをご覧ください。なお、本文中の図版の一部には、開発中の画面のキャプチャーを使用しているため、実際のシステムとは細部の異なる可能性があります。ご了承ください。

4. 動作環境

課題申請システムはユニコード化されており、日本語・英語以外の言語も入力可能な設計になっています。そのため、古いバージョンのブラウザでは正常に動作しないものもあるため、最新のブラウザのご使用をお勧めします。利用業務部が推奨するブラウザは表4-1の通りです。

表4-1 動作確認済のブラウザ

名称	OS	バージョン
Internet Explorer	Windows	6.0以降
Netscape	Windows/ Macintosh	7.0.2以降
Safari	Macintosh	1.0以降
Firefox	Windows/ Macintosh	1.0以降

Macintosh版Internet Explorer上では、動作しません^{注9)}

なお、ブラウザ以外の動作要件については、表4-2をご覧ください。

表4-2 動作に必要な環境

要素	最小スペック	推奨スペック
画面解像度	800×600 (SVGA) 以上	1024×768 (XGA) 以上
モニタカラー	256色以上	32,000色以上
接続環境	インターネットへの接続が可能な環境	常時接続の可能な環境 かつ 1.5Mbps以上の帯域
OS	Windows 98 SE以降 または Mac OS X 10.1 以降	Windows 2000以降 または Mac OS X 10.2.8以降
ソフトウェア	図表を使用する場合は、JPEG/ GIF/ PNGのいずれかの形式で書き出し可能な画像編集ソフト	

5 . SPring-8 User Information Webサイト

SPring-8 User Information (以下UIサイト)は、これまで課題手続きの情報を提供してきたFor Users Page [<http://4users.spring8.or.jp>] に代わる、新しいWebサイトです [図5-1]



図5-1 SPring-8 User Information Webサイト

UIサイトでは課題の電子申請の他にも、手続き状況の確認、論文検索、SPring-8利用ガイド等の情報を提供しています。未ログインの状態でも、“SPring-8 利用案内”や“クイックリンク”といった情報は閲覧できますが、UIサイトが提供するすべての機能にアクセスするには、ユーザーカード番号

とパスワードの組み合わせからなるユーザー認証を行う必要があります。なお、誤動作を防ぐため、UIサイト内では、ブラウザの『戻る』ボタンは使用しないでください。特に、ユーザー登録ページや課題申請システム上では、二重登録やデータの欠損といった重大なエラーを引き起こす可能性があるため、ご面倒でも画面内のリンクから移動してください。

6 . ユーザー登録

ユーザーカード番号を持っていない場合、あらかじめ“ユーザー登録”を行い、アカウントを取得する必要があります。ユーザーカード番号とは、SPring-8の利用者に発行される固有の番号のことで、最大7桁の数字からなっています。ユーザーカード番号は、実験責任者だけではなく共同実験者にも必要です。従って実験責任者は、課題の申請手続きを行う前に、共同実験者に対してユーザー登録を行うように指示してください。

ユーザーカード番号の発行は、トップページ>ユーザー登録>新規登録 から行えます [図6-1]



図6-1 トップページメニュー（ユーザー登録）

ユーザー登録ページ [図6-2] では、画面の指示に従い、氏名/パスワード（ログイン時に使用）/生年月日/性別/所属先等の情報を入力します。



図6-2 新規ユーザー登録画面

これらの情報は、本人確認にも使用しますので、内容は正確に入力してください。

登録が完了するとその旨が画面に表示され [図6-3] メールでユーザーカード番号が通知されます。



図6-3 新規ユーザー登録完了のメッセージ

休休日・年末年始を除いて3日以上連絡がない場合は、メールアドレスの記入間違い等が考えられますので、利用業務部までお問い合わせください。

新規にユーザー登録をされた方は、この時点から課題申請が可能となります。なお、余裕をもって課題申請書を作成できるようにユーザー登録は早めに行ってください。

以前ユーザー登録を行ったがパスワードを忘れた方は、トップページ>ユーザー登録>登録内容変更確認/変更 を選びます。続いて、ユーザーカード番号とユーザー登録時に使用したメールアドレスを入力してください [図6-4]



図6-4 登録パスワードの確認

パスワードが登録メール宛へすぐに送信されます。確認後は、セキュリティ保護のため、パスワードの変更をお勧めします。なお、登録メールアドレスが現在使われていない、または間違っていて登録されている等の理由で受信できない場合は、利用業務部まで別途ご連絡ください。

7. 課題申請～ログイン

課題申請は、トップページ>課題申請 から行います [図7-1]

ユーザー認証前は、課題申請書の入力ページにアクセスできないので、トップページ上で必ずログインしてください [図7-2]



図7-1 トップページメニュー（課題申請）



図7-2 ログインパネル（認証前）

ユーザー認証が済むと、図7-3のように画面が切りかわります。ブラウザを終了または無操作の状態が1時間続くと自動的に認証前の状態に戻りますが、なりすまし^{注10)}等を防ぐため、画面を離れる際は意識的にログアウト^{注11)}してください。



図7-3 ログインパネル（認証後）

ユーザー認証が済んだら、課題申請ページへ進みます。なお、初回ログイン時のみ、図7-4のような“使用許諾書”の画面が現れます。



図7-4 電子申請サービス使用許諾書

使用許諾書には、UIサイト内の電子申請サービス^{注12)}における禁止事項や免責事項が書かれています。内容を熟読した上で、同意する場合のみ、

《同意します》をチェックしてください（不同意の場合は、課題申請システムは使用できません）。また、ユーザー情報検索（後述10-2参照）の検索結果に自分のユーザーカード番号を表示させたくない場合は、“他のユーザーが、氏名および所属によって検索することを許可しますか？”を《許可しない》にします。この場合、実験責任者が検索機能を使って自分のユーザーカード番号を探せなくなるため、共同実験者になる場合は、あらかじめ実験責任者と連絡を取ってください。

8. 課題申請～課題種の選択

課題申請ページでは、新規作成、一時保存した課題の再編集（後述10-9参照）提出済の課題申請書の内容確認のいずれかを選択します [図8-1]



図8-1 課題申請書の選択例

新たな課題申請書を書き始めるには、“新規”枠の『NEW』ボタンをクリックします^{注13}。すると、成果の形態及び課題種の選択画面に移動するので、まず成果専有または非専有のいずれかを選択してください [図8-2]

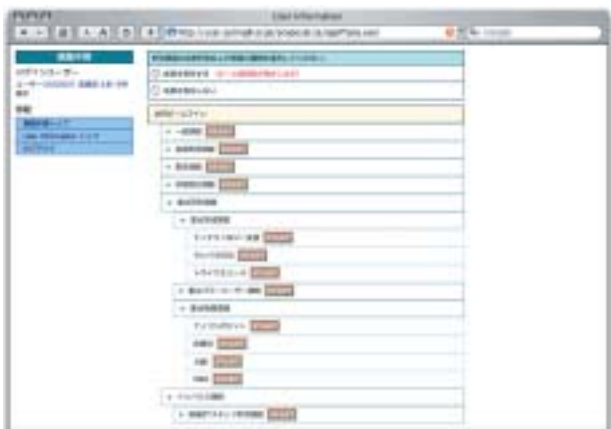


図8-2 課題種のリスト（未選択）

これは、成果公開の有無で申請可能な課題種が異なるからです [図8-3・8-4]



図8-3 課題種のリスト（成果専有）



図8-4 課題種のリスト（成果非専有）

成果専有 / 非専有を決定すると、申請可能な課題種の『START』ボタンの色が変わり、選択可能になります。続いて、希望する課題種の『START』ボタンをクリックし、次のページへ進みます。なお、リストには表示されているものの、成果専有 / 非専有のどちらを選んでも有効にならない課題種については、特定のユーザー（パワーユーザー等）のみ申請可能です。また、長期課題の申請を希望する方は、事前に利用業務部までご連絡ください。

なお、各課題種の特徴は表8-5の通りです。

表8-5 課題種と特徴

課題種	特徴（応募締切の回数、公募の有無／募集成果専有利用）	
一般課題	特に制限はなく、国内外から申請可能 (年2回、公募/可)	
長期利用課題	3年間有効の課題 (年2回、公募/不可)	
緊急課題	緊急かつ極めて重要な課題 (随時、公募/不可)	
時期指定利用課題	利用希望時期を指定できるが、通常 の成果専有利用の5割増しのチーム 使用料が課せられる (随時、公募/成果専有のみ)	
萌芽の研究支援課題	萌芽的・独創的な研究課題やテーマ を創出する可能性のある若手学生が 対象 (年2回、公募/不可)	
重点研究課題	領域指定型	
	ナノテクノロジー支援課題	文部科学省「ナノテクノロジー総合支援プロジェクト」SPring-8におけるナノテクノロジー研究課題 (年2回、公募/不可)
	タンパク500課題	文部科学省「タンパク3000プロジェクト」におけるタンパク質の個別的解析プログラム (年2回、ユーザー限定公募/不可)
	SPring-8戦略活用プログラム	文部科学省「先端大型研究施設戦略活用プログラム」のSPring-8における先端大型研究施設活用プログラム (年2回、公募/不可)
	利用者指定型	重点パワーユーザー課題 SPring-8の特徴を熟知し、今後も成果を上げる可能性が高いと評価され、JASRIが指定する利用者(パワーユーザー)による実施課題 (年2回、非公募/不可)
	戦略型	ナノコンポジット材料の解析 施設の技術的検討や新しい利用技術の開発等施設利用研究促進に資する課題。JASRIが自らもしくは他機関と共同で実施する課題 (年2回、非公募/不可)
	医薬品など粉末試料回折実験の新利用技術の開発	
	反応現象のX線ピンポイント構造計測	

9. 課題申請～申請形式の選択 (一般課題;成果非専有)

以下、特に記述のない限り、成果非専有の一般課題の申請ページを元に説明します。緊急課題/重点課題も、基本的には一般課題と同様です。

まず、申請形式(新規/継続/留保/一年)を選択します[図9-1]



図9-1 申請形式の選択例

各区分の説明は、表9-2の通りです。

表9-2 申請形式の種類

申請形式	説明
新規	通常の申請
継続	以前採択された課題が何らかの理由により終了せず、継続して実験したい場合の申請。 採択課題のチームタイムを終了後も研究が続く場合や実験責任者が変わる場合は、“新規”で申請すること
留保	留保チームタイムの申請(留保チームタイムを提供した場合)
一年	B期のみでの申請で、1年課題を受け付けているチームラインのみ

継続課題を選択する場合は、前回の課題番号を《2005A0000》のように入力します[図9-3]



図9-3 申請形式の選択例(長期課題)

その際、ひとつめのハイフン以降の記号は入力不要です^{注14}。またいずれの形式でも、蛋白質結晶構造解析の課題を申請する場合は、該当欄をチェックしてください。

なお、一度選択した課題種・申請形式は後から変更することができません^{注15}。選択した内容を確認の上、次のステップに進んでください。

10-1. 課題申請～基本情報(一般課題;成果非専有)

このページの入力項目から、再編集が可能となります。締切前であれば、作業を途中で中断し、随時再開することも可能です。

課題情報の入力ページは、左側に並んだメニューと右側の記入欄から構成されます [図10-1-1]

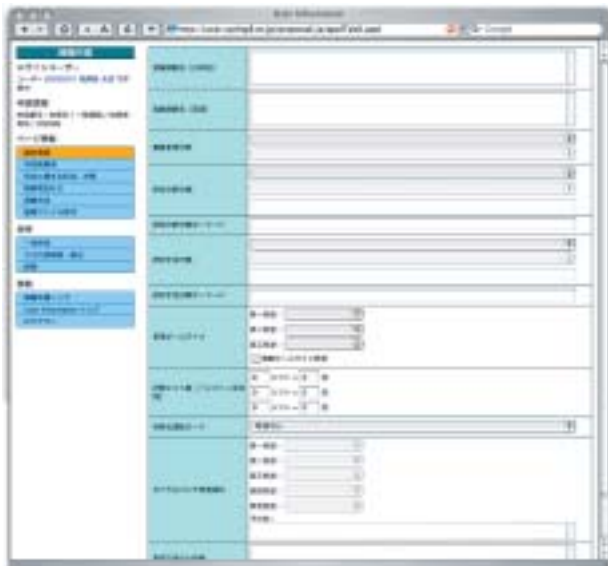


図10-1-1 基本情報ページ

記入欄は、表10-1-2に示すカテゴリーに分かれており、メニュー→ページ移動 下の各スイッチをクリックすることで、ページが切りかわります。

入力する順番に決まりはありません。記入しやすいカテゴリーから作業を始めることもできます。

ある程度入力作業が進んだら、メニュー→保存の『一時保存』をクリックし、データを保存してください。サーバ側に作成中の課題申請書が記録されます [図10-1-3]

これにより、途中でブラウザを終了しても、保存時の状態から再開することができます。なお、セキュリティ保護のため、作業終了後は必ずメニュー→移動 から、『ログアウト』してください^{注16)} [図10-1-4]



図10-1-3 課題申請書の一時保存メッセージ



図10-1-4 ログアウト時のメッセージ

なお、本課題申請システムは多言語に対応しているため、自由記入欄ではユニコードで定義されている全文字種の入力・登録が可能^{注17)}です。キーボードから直接打つことのできない特殊文字を入力する方法については、利用しているオペレーティングシステムまたはインプットメソッド^{注18)}のマニュアルをご覧ください。

基本情報のページでは、実験課題名や審査希望分野、研究分野・手法、希望ビームラインといった課題申請書の基本となる情報を入力します。“審査希望分野”“研究分野分類”“研究手法分類”の各欄には選択欄（ポップアップメニュー）が二つありますが、これは大項目と小項目に当たります [図10-1-5]

また、“セベラルバンチ希望順位”は、“特殊な運転モード”の項目で《セベラルバンチ》を選んだ場合のみ選択可能です。

表10-1-2 入力項目のカテゴリー

分類	主な記入項目・内容
基本情報	課題名/審査分野/研究分野/希望ビームライン/所要シフト数
共同実験者	ユーザーカード番号から共同実験者名を検索・登録
安全に関する記述、対策	測定試料/持ち込む装置、器具
提案理由など	提案理由/準備状況/発表論文リスト
実験方法	ビームライン選定の理由/シフト数算出の根拠
画像ファイル添付	説明に必要な図表データ *最大3ファイルまで
構造解析の対象	構造解析の対象についての情報 *蛋白質結晶構造解析選択時のみ
ナノテクノロジー総合支援プロジェクト	テーマ No./位置づけ・重要性 *ナノテクノロジー総合支援プロジェクト選択時のみ

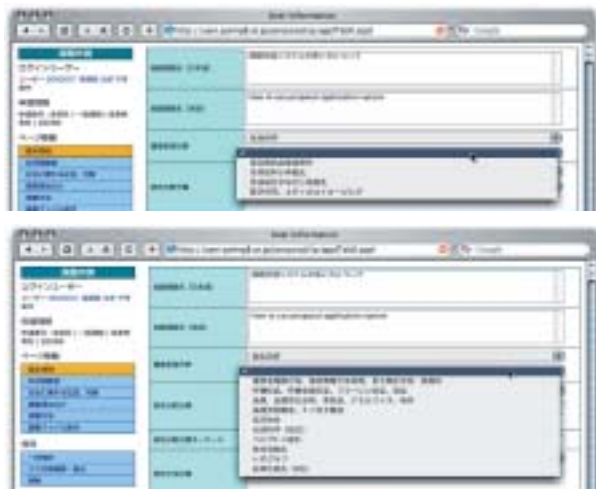


図10-1-5 項目の選択例

10-2 .課題申請～共同実験者(一般課題；成果非専有)

メニュー>ページ移動の『共同実験者』を選ぶと、共同実験者の登録ページへ移動します。共同実験者として登録したいメンバーのユーザーカード番号を入力し、『ユーザー情報参照』ボタン(画面下部またはメニュー>操作)をクリックすると、対応するユーザー情報(氏名/所属)が自動的に補完されます[図10-2-1]

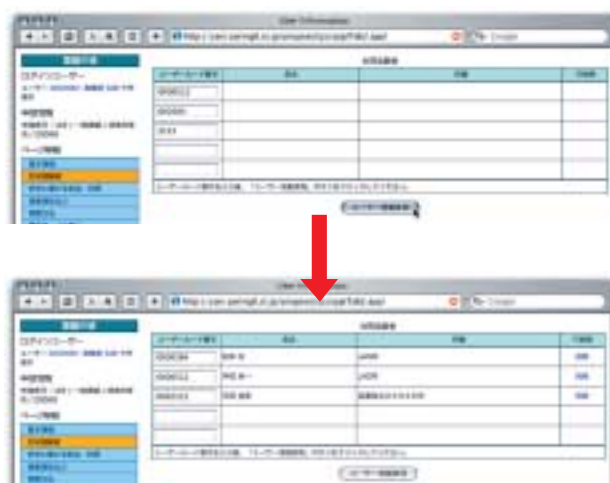


図10-2-1 共同実験者の登録例

なお、ここで登録した共同実験者は、採択後に変更することも可能です。

6名以上のメンバーを登録したい場合は、メニュー>操作から『一行追加』をクリックしてください。記入欄が追加されます^{注19)}[図10-2-2]

また、メンバーのユーザーカード番号が分からな



図10-2-2 一行追加

い場合は、メニュー>操作の『ユーザー情報検索』をクリックします。すると、検索画面が別ウィンドウとして表示されるので、メンバーの氏名または所属を手がかりに、ユーザーカード番号を調べることが可能です[図10-2-3]



図10-2-3 ユーザー情報検索の例

検索結果に該当するメンバーが含まれている場合、その部分をクリックすることで、共同実験者リストに当該メンバーを挿入することができます[図10-2-4]



図10-2-4 検索結果の挿入

なお、ユーザーの申し出により、検索結果に情報が表示されないこともあります。その場合は、『ユーザー情報検索』からユーザーカード番号を調べられないため、メンバー本人に直接ユーザーカード番号を確認してください。

10-3 .課題申請～安全に関する記述、対策(一般課題；成果非専有)

メニュー>ページ移動の『安全に関する記述、対策』を選ぶと、測定試料・物質、持ち込み機器・機材に関する記入ページに切りかわります[図10-3-1]

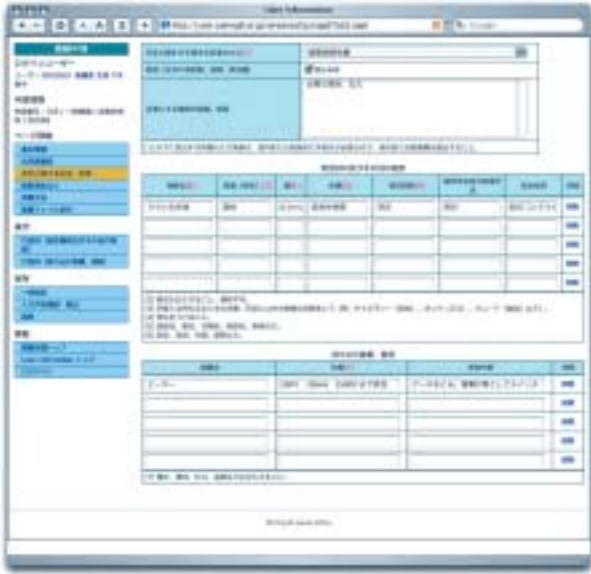


図10-3-1 安全に関する記述、対策の記入例

“安全に関する手続きが必要なもの”がある場合、ポップアップメニューから該当する項目を選択してください [図10-3-2]

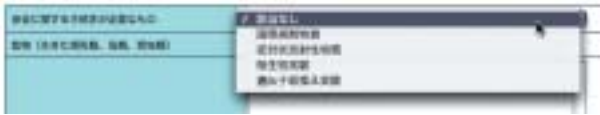


図10-3-2 “安全に関する手続きが必要なもの”

また、動物を持ち込む場合は、《持ち込み有》をチェックします。

“測定試料及びその他の物質”の記入欄は、物質名/形態(形状)/量/性質/使用目的/保存方法及び処理方法/安全対策の各項目からなります。記入欄は各項目とも5行ありますが、もし6つ以上の測定試料を記入したい場合は、メニュー>操作より『行追加(測定試料及びその他の物質)』をクリックしてください。

一方、“持ち込む装置、器具”の記入欄は、装置名/仕様/安全対策の各項目で構成されています。測定試料の項目と同様に、6つ以上の機器を入力したい場合は、メニュー>操作より『行追加(持ち込む装置、器具)』をクリックします。

なお、画面解像度によっては、これらの記入欄(フォーム)の幅が小さくなるため、入力しにくい場合があります。誤動作や入力ミスを防ぐためにも、あらかじめ表計算ソフト等で下書きを作成し、データを貼りつけることをお勧めします。

10-4. 課題申請～提案理由など/実験方法(一般課題; 成果非専有)

メニュー>ページ移動の『提案理由など』を選ぶと、研究の意義・目的・特色・期待される成果、準備状況、発表論文リストの記入ページへ移動します [図10-4-1]



図10-4-1 提案理由などの記入例

また同様に、メニュー>ページ移動の『実験方法』を選ぶと、実験方法、ビームライン選定理由、使用するエネルギー、シフト数算出の根拠等の情報を入力するページが表示されます [図10-4-2]

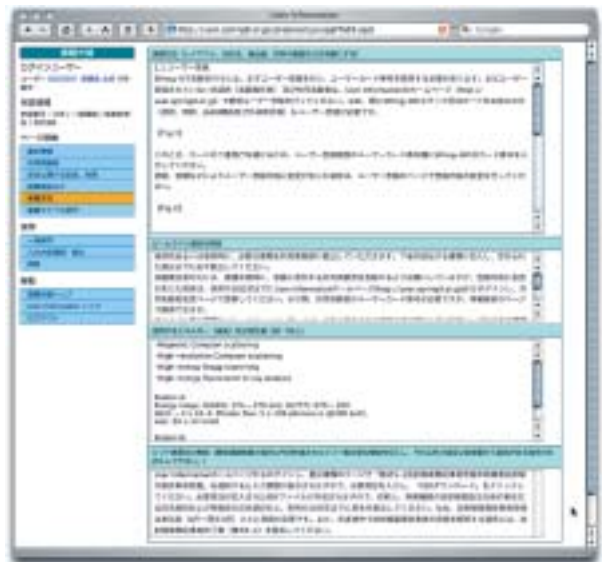


図10-4-2 実験方法の記入例

これらの項目は自由記述欄ですが、システム上、各フォームには字数制限を設けています^{注20}。字数の上限を表10-4-3に示します。

本システムでは、説明のための図表(画像ファイ

表10-4-3 自由記入欄の字数上限

項目	上限	
	日本語（語）	英語（ワード）
提案理由など		
提案の種類と提案理由	2000	900
準備状況	600	270
発表論文リスト	1500	680
実験方法		
実験方法	1500	680
ビームライン選定の理由	300	140
使用するエネルギー	100	50
シフト数算出の根拠	2000	900

日本語の申請ページで英文記述をした場合は、日本語の字数制限が適用されます。

ル)を最大3ファイルまで添付（アップロード）できます。（後述10-5参照）ただし、説明文中に画像ファイルを挿入した状態で表示することはできないため、必要な場合は図表を当てはめる位置に、対応するキャプション（Fig.1～Fig.3）を記述してください〔図10-4-4〕

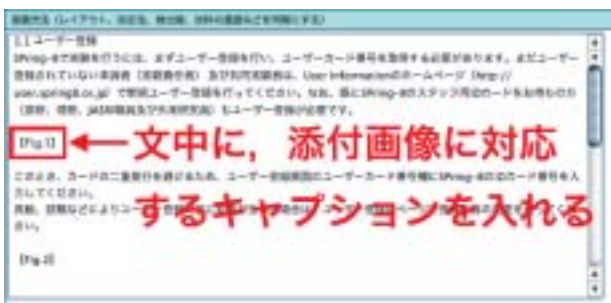


図10-4-4 添付画像に対応するキャプションの記述例

10-5．課題申請～画像ファイル添付（一般課題；成果非専有）

メニュー→ページ移動の『画像ファイル』を選ぶと、説明に使用する図表をアップロードするためのページへ移動します〔図10-5-1〕



図10-5-1 画像ファイル添付ページ

Fig.1～Fig.3枠の『ファイルを選択』ボタンをクリックすると、ファイル指定するダイアログが現れます〔図10-5-2・図10-5-3〕



図10-5-2 『ファイルを選択』ボタン

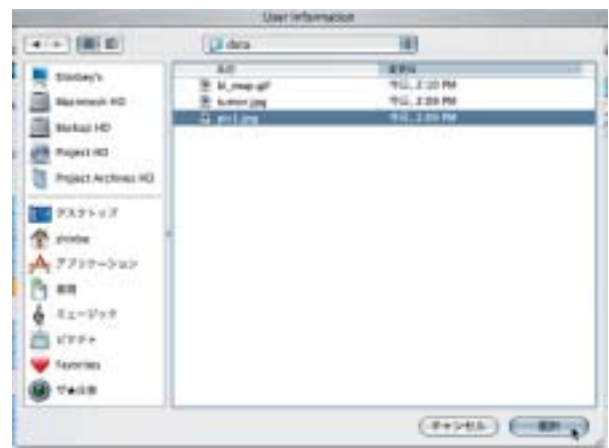


図10-5-3 ファイル選択ダイアログ

添付可能な形式は、JPEG（.jpg/.jpeg）・GIF（.gif）・PNG（.png）のみです。各ファイルのサイズは1MB以内にしてください。また、拡張子^{注21}のないファイルはアップロードできません。

ファイルを指定すると、添付する画像ファイルの名前が表示されます。ファイル名を確認し、『アップロード』ボタンをクリックしてください〔図10-5-4〕



図10-5-4 『アップロード』ボタン

アップロードが完了すると、図10-5-5のようなサムネール^{注22}が現れます。

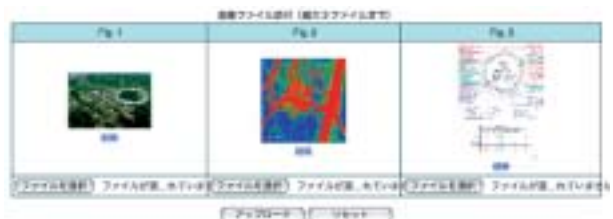


図10-5-5 添付ファイルのサムネール

図表の詳細を確認したい場合は、サムネールをクリックしてください [図10-5-6]



図10-5-6 アップロードした画像ファイルの確認例

すでにアップロードした図表を置き換える場合は、該当するFig.枠上で新たな画像ファイルを選択し、『アップロード』ボタンをクリックしてください。その際、図10-5-7のような確認メッセージが表示されるので、書き換えてもよい場合のみ『OK』ボタンをクリックします。



図10.5.7 添付画像の置き換え確認のメッセージ

一方、図表を消したい場合は、該当するFig.枠の『削除』をクリックすることで消去可能です [図10-5-8]



図10-5-8 添付画像の消去

10-6．課題申請～構造解析の対象（一般課題；成果非専有）

申請形式の選択ページで“蛋白質結晶構造解析”をチェックした場合、メニュー>ページ移動に『構造解析の対象』が追加されます [図10-6-1]

記入欄は、サンプル名 / 分子量（生物学的単位） / 分子量（結晶学的非対称単位） / 同種・類似分子の構造解析例 / 類似分子名 / 1次構造の相同性



図10-6-1 “蛋白質結晶構造解析”の選択例

(%) / 結晶化（3項目） / 予備的回折実験（4項目） / 予定している解析法（4項目） / クライオ実験の準備状況の各項目からなります [図10-6-2]

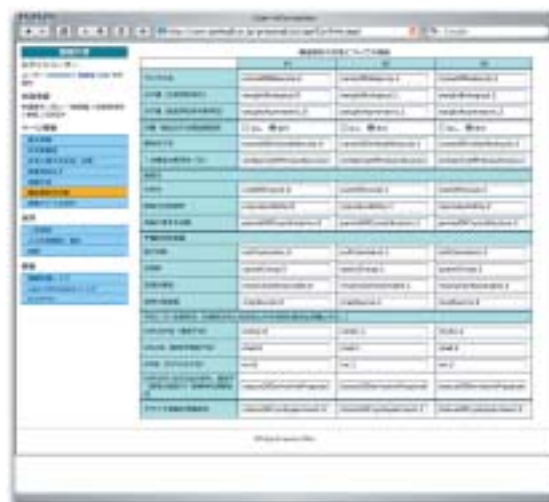


図10-6-2 蛋白質結晶構造解析の記入例

構造解析の対象は3種類までしか記入できないため、欄が不足する場合は利用業務部までお問い合わせください。

なお、画面解像度によっては、これらの記入欄（フォーム）の幅が小さくなるため、入力しにくい場合があります。誤動作や入力ミスを防ぐためにも、あらかじめ表計算ソフト等で下書きを作成し、データを貼りつけることをお勧めします。

補足：“蛋白質結晶構造解析”選択時の『実験方法』記入欄は、ビームライン選定の理由並びにシフト数算出の根拠のみとなります。

10-7．課題申請～ナノテクノロジー総合支援プロジェクト（ナノテク課題）

課題種の選択ページで、“ナノテクノロジー支援”を選んだ場合、メニュー>ページ移動に『ナノテクノロジー総合支援プロジェクト』が追加されます [図10-7-1]

記入欄は、支援テーマNo. / ナノテクノロジー分



図10-7-1 ナノテクノロジー総合支援プロジェクトの記入例

野における位置づけ・重要性/期待されるナノメーター領域の技術、科学または産業分野/希望する支援/支援の具体的内容の各項目からなります。システム上、自由記入欄[表10-7-2]の各フォームには字数の上限を設定しています。

表10-7-2 自由記入欄の字数上限

項目	上限	
	日本語(語)	英語(ワード)
位置づけ・重要性	1000	450
発展が期待される技術	500	230
支援の具体的内容	500	230

補足：“ナノテクノロジー支援”の申請形式の選択画面では、常に《無指定》を選択してください[図10-7-3]



図10-7-3 申請形式の選択例(ナノテクノロジー支援)

10-8. 課題申請～成果専有(成果非公表)

成果専有で申請する場合は、課題申請書の他に、チーム使用に関わる同意書を提出する必要があります。当該のフォームをUIサイトよりダウンロードし、実験責任者並びに所属機関の成果専有基本契約責任者の署名・捺印の上、別途郵送してください。

10-9. 課題申請～課題申請書の再編集

ログアウト後に編集を再開するには、ユーザー認証後、課題申請ページへ進み、“編集”枠から該当する課題申請書の『OPEN』ボタンをクリックします[図10-9-1]



図10-9-1 編集中の課題申請書の例

すると、前回の保存内容が確認画面として表示されるので、メニュー>ページ移動 から編集したいカテゴリのスイッチを選びます[図10-9-2]



図10-9-2 保存内容の確認例

編集作業後は、メニュー>保存から『一時保存』をクリックし、入力内容を忘れずに保存してください。

10-10. 課題申請～課題申請書の提出

課題申請書を提出するには、メニュー>保存の『入力内容確認・提出』をクリックします。すると、入力内容の確認画面が現れるので、内容に問題がなければ、同じくメニュー>保存より『提出』を選びます。その際、誓約事項を確認の上、《同意》に

チェックを入れてください。続いて、最終確認のメッセージが表示されるので、『OK』ボタンをクリックすると課題申請書が提出されます〔図10-10-1〕



図10-10-1 課題申請書の最終提出確認のメッセージ

提出後は、申請内容の再編集はできないのでご注意ください。

課題申請書が受理されると、実験責任者宛に課題番号と誓約書の申請者控え用PDFファイルがメールで送られます^{注23)}。なお、提出した内容は、課題申請書の選択ページの“提出”枠から確認できます〔図10-10-2〕



図10-10-2 提出済の課題申請書の例

11. 最後に

電子申請システムの動作テストを繰り返し行ってきましたが、万が一不具合等を発見されましたら、利用業務部までご連絡ください。また、UIサイト内にも不具合報告や改善要望などを受け付ける電子目安箱を設置していますので、こちらもあわせてご利用ください。

なお、課題申請書の作成・提出は余裕をもってお願いいたします。

脚注

注1) 多国語処理を可能にした文字体系

注2) 2005Bの申請分から有効です

注3) 現バージョンには未実装の機能もあります。順次対応予定です

注4) 実験責任者が、共同実験者の指導も含め、責任をもって課題を実施することを契約するもの

注5) ユーザーカード番号とパスワードを入力し、ユーザー個別のページに入ること

注6) サービスを利用するために必要な権限のこと

注7) ただし、アカウントやパスワードの管理は実験責任者の責任の下でお願いします

注8) 正確には課題申請データですが、ここでは従来の紙ベースと同じ呼称に統一します

注9) ブラウザ側のバグ(不具合)のため

注10) 他人のアカウントを盗用し、悪意をもって申請行為等を行うこと

注11) ログイン状態を解除すること

注12) 電子申請サービスには、ユーザー登録・課題申請システム以外に、ユーザーが採択/実験後に使用する電子システムも含まれます

注13) 初回申請時は、図8.1の“編集”“提出済”枠には何も表示されません

注14) 現行バージョンには、課題番号から以前の課題情報を取り出し、入力項目を自動補完する機能は未実装です

注15) 変更が必要な場合は、最初から入力し直す必要があります

注16) 課題申請書のデータは自動的に保存されないため、ログアウト前に必ず、メニュー>保存から『一時保存』を実行してください

注17) ただし、画面表示される文字種は、インストールされているフォントに依存します

注18) かな漢字変換プログラムのこと

注19) 欄がすべて埋まった状態で『ユーザー情報参照』ボタンをクリックしても、行が自動的に追加されません

注20) これはシステム側の上限値であり、最大に近い文字数で入力することを求めるものではありません

注21) ファイルの種類を表す3~4文字の文字列のこと

注22) 縮小画像のこと

注23) 機密保持のため、課題申請書の内容は送られません